

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公表特許公報(A)

(11) 特許出願公表番号

特表2010-504780
(P2010-504780A)

(43) 公表日 平成22年2月18日(2010.2.18)

(51) Int.Cl.
A45D 2/24 (2006.01)

F I
A45D 2/24

テーマコード (参考)

審査請求 未請求 予備審査請求 有 (全 10 頁)

(21) 出願番号 特願2009-529722 (P2009-529722)
 (86) (22) 出願日 平成19年7月31日 (2007.7.31)
 (85) 翻訳文提出日 平成21年5月19日 (2009.5.19)
 (86) 国際出願番号 PCT/ES2007/000473
 (87) 国際公開番号 W02008/037823
 (87) 国際公開日 平成20年4月3日 (2008.4.3)
 (31) 優先権主張番号 P200602478
 (32) 優先日 平成18年9月28日 (2006.9.28)
 (33) 優先権主張国 スペイン (ES)

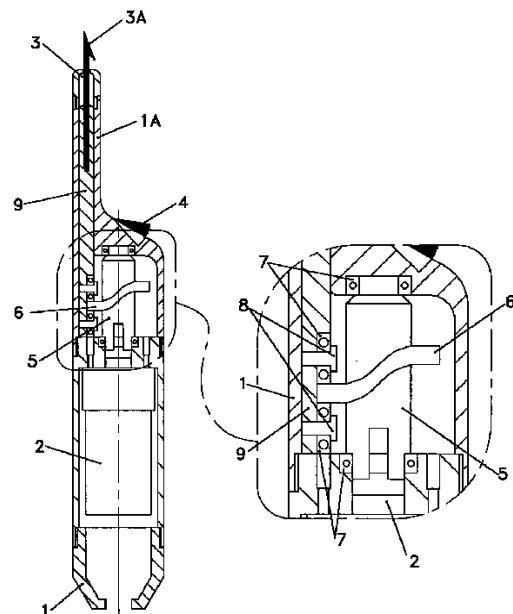
(71) 出願人 509088022
 グティエレス ウガルテ ケリアン
 スペイン王国 ビスカヤ E-48460
 オルドゥニャ サン イグナシオ カレ
 ア 4-2デ
 (74) 代理人 100082887
 弁理士 小川 利春
 (74) 代理人 100090918
 弁理士 泉名 謙治
 (74) 代理人 100072774
 弁理士 山本 量三
 (72) 発明者 グティエレス ウガルテ ケリアン
 スペイン王国 ビスカヤ E-48460
 オルドゥニャ サン イグナシオ カレ
 ア 4-2デ

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 ドレッドロック状態に絡みついた長い房となるように髪の毛を整える装置

(57) 【要約】

ドレッドロック状態に絡みついた長い房となるように髪の毛を整える装置であって、内部に電気式又は油圧式モータ(2)を収容し、取っ手の形をした人間工学に基づくデザインをした収容体(1)を備え、収容体は、その先端下部には、突出部(1A)が形成されていて、ここから、交換式もり状針(3)が、突出し、交換式もり状針は、少なくとも1個の往復移動もり(3A)を備え、交換式もり状針は、着脱手段により、所定の回転位置に取り付けら、収容体(1)は、突出部(1A)の上部後方に、スイッチ(4)を備え、電気式又は油圧式モータ(2)は、速度調節手段を備え、シャフト(5)を有し、シャフトは、交換式もり状針(3)と平行に延び、これに対して回転自在に結合され、シャフトの周囲からは、無端の波状形状をしたフィン(6)が、突出し、このシャフト(5)の長さ方向における2個のハーフ部分の各々に亘って、この無端の波状形状は、正弦曲線の半分を構成し、フィン(6)は、複数個のピン(8)に留められた軸受(7)の各々の外側回転リングの間に側方で捕捉され、複数個のピンは、電気式又は油圧式モータ



【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ドレッドロック状態に絡みついた長い房となるように髪の毛を整える装置であって、内部に電気式又は油圧式モータ(2)を収容し、取っ手の形をした人間工学に基づくデザインをした収容体(1)を備え、収容体は、その先端下部には、突出部(1A)が形成されていて、ここから、交換式もり状針(3)が、突出し、交換式もり状針は、少なくとも1個の往復移動もり(3A)を備え、交換式もり状針は、着脱手段により、所定の回転位置に取り付けられ、収容体(1)は、突出部(1A)の上部後方に、スイッチ(4)を備え、電気式又は油圧式モータ(2)は、速度調節手段を備え、シャフト(5)を有し、シャフトは、交換式もり状針(3)と平行に延び、これに対して回転自在に結合され、シャフトの周囲からは、無端の波状形状をしたフィン(6)が、突出し、このシャフト(5)の長さ方向における2個のハーフ部分の各々に亘って、この無端の波状形状は、正弦曲線の半分を構成し、フィン(6)は、複数個のピン(8)に留められた軸受(7)の各々の外側回転リングの間に側方で捕捉され、複数個のピンは、電気式又は油圧式モータ(2)のシャフト(5)に対して半径方向にあり、長さ方向ガイド手段を備える往復移動体(9)を横断し、往復移動体には、交換式もり状針(3)が、取り付けられることを特徴とする装置。

10

【請求項 2】

前記交換式もり状針(3)は、所定の角度位置に取り付けられ、交換可能となるように着脱自在になっていることを特徴とする、請求項1に記載された、ドレッドロック状態に絡みついた長い房となるように髪の毛を整える装置。

20

【請求項 3】

前記交換式もり状針(3)には、2個以上の往復移動もり(3A)が備えられることを特徴とする、請求項1に記載された、ドレッドロック状態に絡みついた長い房となるように髪の毛を整える装置。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

この発明は、正しくは、ラスタスと呼ばれる、「ラスタファリ」教の信奉者、すなわち、こうしたヘアスタイルをした人々の典型的なヘアスタイルであるため、語彙的に街中で「ドレッドロック」として知られている状態に絡みついた長い房となるように髪の毛を整える装置に関する。

30

【背景技術】

【0002】

ドレッドロックは、筒状のヘアスタイルのことで、髪の毛同士が互いに織り込まれるように絡み合っており、解けた髪の毛がなく、構造的に長期間安定している。このヘアスタイルは、もともと、髪の毛が自然に小さくカールしているアフリカの民族集団に特有のもので、髪の毛同士の絡み合いが、極めて簡単に起こる。今日では、ファッションとして、このヘアスタイルが、ドレッドロック状態にするのが極めて困難な直毛を含む、あらゆる種類の髪の毛を持つ人々により求められている。

40

【0003】

ドレッドロックにするには、種々の異なる手法がある。

【0004】

最も勧められる手法は、化学用品を全く使用しない自然的な手法である。自然的手法の変形が、起毛手法であり、房ごとに起毛を施して、このようにした房を手で丸めるものである。この手法では、ドレッドロックはきつくなり、完全な状態ではない。事実、ドレッドロックを充分にきつくし仕上げるには、数ヶ月掛かる。この間、ドレッドロックには気を配る必要がある。この手法は、直毛に適用するには向いていない。ドレッドロックにするもう一つの手法は、乱暴で未成熟ではあるが、人の髪の毛をくしですくのを止めることであるが、かなりの時間が掛かる(髪の毛の種類にもよるが、数年を要する)。

50

この手法は、ドレッドロックスの直径を調節できず、ドレッドロックスが、様々な大きさになってしまう。もう一つの方法は、好ましいもので、かぎ針編みタイプと呼ばれるもので、かぎ針編み用の交換式もり状針を用いる、全て手で行う絡み合わせである。交換式もり状針を髪の毛の房に通して往復移動させて、髪の毛を房の中心の方へ引き込む。このようにして、髪の毛間で針仕事をするようにして、きつくし、完全なドレッドロックスを当初から作り上げる。しかしながら、この手法は、極めて骨が折れ、時間が掛かり、費用もかなり掛かり、この手法を施して貰う人にとって極めて根気がいるものである。美容師にとっても、仕事で疲労困憊する作業で、姿勢に起因する健康上の問題にもさらされる。このようにして、髪の毛が一旦仕上がってしまうと、手入れは要らず、自然の動きに任せてよく、上述した他の手法の場合のような手入れは必要ない。その他の公知の手法は、ドレッドロックスにするのを簡易化し時間を掛けなくて済むように、化学品を使用するものである。こうした手法は、化学品が、内部及び表面の毛細管組織に重大な損傷を与えて、頭皮の真皮に疾患（とりわけ、アレルギー、脱毛症及び脱濡症皮膚炎）をもたらす虞があるので、健康的な髪の毛にとっては正反対な状態となる。もっとも重要なことである、顧客の健康に対する悪影響とは別に、美容師の印象及び職業上の地位に影響を与え、美容師の多くが、こうした手法を行うのを拒否している。

10

【0005】

米国特許公開公報第2004/0028632号により、髪の毛を細くする化学品を使用して、髪の毛を絡み易くすることが公知であるが、この手法では、髪の毛間で針仕事をするようなことはなされず、洗髪すると、ドレッドロックスは、なくなってしまう。化学品の使用は、処理時間を短縮するため、特殊な美容室で行われるのが通常であるが、髪の毛のタイプの違いを考慮して、髪の毛に合わせてアレンジするため、パーマ掛けに頼る（時として、2回又は3回のパーマ処理を連続して行う）が、髪の毛は、相当な損傷を受け、はっきりと感じるほどに乾ききってしまう。このようにしてドレッドロックスにすることは、顧客にとって極めて費用が掛かる。ヘアスタイルを変えようとする、髪の毛をカットして伸びるのを待つ他ない。これは、ドレッドロックスをなくし、ヘアスタイルを別のスタイルにするには、髪の毛の状態が、元に戻すことができないほどに、髪の毛が、相当に損傷を受けているためである。

20

【0006】

上述したことから、かぎ針編みタイプとして述べた手法の往復移動という特徴を機械化できる、従来にない装置を提供することが理想であることが分かる。

30

【0007】

米国特許第4,644,952号明細書に開示されているような、入れ墨用の微小着色装置が公知である。しかしながら、この主の装置は、上述した要請に向いていない。第1に、皮膚への着色に必要な移動距離が、ドレッドロックスに絡み合わせるのに必要な移動距離（8乃至11mm）よりもかなり短い（3mmのオーダー）である点にある。第2に、入れ墨に必要な力は、極めて低く、一方、ドレッドロックスを作るには、往復移動にかなりの力を必要とする点である。

【発明の概要】

【課題を解決するための手段】

40

【0008】

上記事情を考慮して、本発明は、内部に電気式又は油圧式モータを收容し、取っ手の形をした人間工学に基づくデザインをした收容体を備え、收容体は、その先端下部には、突出部が形成されていて、ここから、交換式もり状針が、突出し、交換式もり状針は、少なくとも1個の往復移動もりを備え、交換式もり状針は、着脱手段により、所定の回転位置に取り付けら、收容体は、突出部の上部後方に、スイッチを備え、電気式又は油圧式モータは、速度調節手段を備え、シャフトを有し、シャフトは、交換式もり状針と平行に延び、これに対して回転自在に結合され、シャフトの周囲からは、無端の波状形状をしたフィンが、突出し、このシャフトの長さ方向における2個のハーフ部分の各々に亘って、この無端の波状形状は、正弦曲線の半分を構成し、フィンは、複数個のピンに留められた軸受

50

の各々の外側回転リングの間に側方で捕捉され、複数個のピンは、電気式又は油圧式モータのシャフトに対して半径方向にあり、長さ方向ガイド手段を備える往復移動体を横断し、往復移動体には、交換式もり状針が、取り付けられる装置を提供する。オプションな実施形態では、前記交換式もり状針には、2個以上の往復移動もりが備えられる。

【発明の効果】

【0009】

本発明により提供される構成では、電気式又は油圧式モータにより駆動される回転シャフトの回転は、その周囲フィンによって往復運動を生じさせ、この往復運動は、交換式もり状針が取り付けられた往復移動体に直接伝達される。本発明に係る装置によれば、ドレッドロックスを作るのに必要となる、適正な力がもたらされる。さらに、周囲フィンの波形状の正弦曲線の振幅を変えるだけで、往復移動体、ひいては交換式もり状針の移動ストロークを変更することができる。

10

【0010】

本発明に係る装置によれば、化学品を使用しないかぎ針編み手法を、時間を大幅に節約した状態でドレッドロックスを作るのに応用できるので、美容師にとって困難な仕事を軽減し、利用者にとっては退屈しないで済む。このため、第1に、顧客にとっては、ヘアスタイルに掛かる費用が、著しく低減され、第2に、ドレッドロックスを作るのを簡易化し迅速化するための化学品の使用に頼るのを避けるのに役立つので、上述したような髪のに生じる損傷（アレルギー、脱毛症及び脱濡症皮膚炎、乾燥、毛切れ等）を防止できる。

20

【0011】

本発明による、もう一つの顕著な効果は、今までドレッドロックスを作るの断っていた、又はドレッドロックスを作るのに有害な化学品に頼っていた、多くの美容師が使用する気になるように、かなり迅速に、より快適に、仕上がりが高品質にドレッドロックスを作ることができる装置を美容師業界に提供することである。また、本発明による装置を用いると、所望に応じて何回も、ドレッドロックスを作ったり元に戻したりできる。このようなことは、今まではなかったことである。

【0012】

本発明による装置は、美容師の創造性を支援するもので、美容師は、カット又は他の通常の調髪作業を行う前の準備として、ドレッドロックスを用いることにより、独創的な仕上がりにすることができる。

30

【0013】

本発明に係る装置の、もう一つの特徴は、本発明の利用法を説明するマルチメディア製品とともに審美的な表現の可能性により補完しうる、マーケティング能力である。

【図面の簡単な説明】

【0014】

本発明の特質をより理解できるように、添付図面に産業上利用できる実施形態を示すが、図示の実施形態は、単に説明のためのものでなんらの限定をもたらしことのない例示に過ぎない。

【0015】

【図1】本発明による装置の長さ方向断面図である。この図1には、回転シャフト5とその周囲フィン6の取り付け具の箇所の詳細を示す拡大図を含めてある。例示には、次の参照符号を示してある。1 収容体 1A 収容体1の突出部 2 電気式又は油圧式モータ 3 交換式もり状針 4 スイッチ 5 回転シャフト 6 回転シャフト5の周囲フィン 7 軸受 8 ピン 9 往復移動体

40

【発明を実施するための形態】

【0016】

添付図面及び上記の参照符号に関しては、添付図面に、ドレッドロックス状態に絡みついた長い房となるように髪のを整える装置についての、本発明の対象である好ましい実施形態を示してある。この装置は、図1に示すように、内部に電気式又は油圧式モータ2を収容した収容体1を備え、装置は、取っ手の形をした人間工学に基づくデザインをして

50

おり、その先端下部には、突出部 1 A が形成されていて、ここから、交換式もり状針 3 が、突出する。交換式もり状針は、少なくとも 1 個の往復移動もり 3 A を備える。交換式もり状針は、着脱手段により、所定の回転位置に取り付けられる。収容体 1 は、突出部 1 A の上部後方に、スイッチ 4 を備える。電気式又は油圧式モータ 2 は、速度調節手段を備え、シャフト 5 を有する。シャフトは、交換式もり状針 3 と平行に延び、これに対して回転自在に結合される。シャフトの周囲からは、無端の波状形状をしたフィン 6 が、突出する。このシャフト 5 の長さ方向における 2 個のハーフ部の各々において、この無端の波状形状は、正弦曲線の半分を構成する。この無端の波状形状により構成されるフィン 6 は、複数個のピン 8 に留められた軸受 7 の各々の外側回転リングの間に側方で捕捉される。複数個のピンは、電気式又は油圧式モータ 2 のシャフト 5 に対して半径方向にあり、長さ方向

10

【 0 0 1 7 】

交換式もり状針 3 は、所定の角度位置に取り付けられ、通常の着脱部材を備えた機械的手段により交換可能となるように着脱自在になっている。

【 0 0 1 8 】

他の実施形態としては、交換式もり状針 3 が、2 個以上の往復移動もり 3 A を備える。

【 0 0 1 9 】

作用的観点からは、本発明による装置は、次のように使用される。電気式又は油圧式モータ 2 を停止したまま、交換式もり状針 3 を、髪の毛が絡みついた状態になった房にしたい人の毛の房の中に入れてから、スイッチ 4 を押し、シャフト 5 を回転駆動させる。シャフトは、軸受 7 を通じてのフィン 6 の作用により、往復移動体 9 を往復運動させる。往復移動体は、往復移動もり（又は複数個の往復移動もり）3 A を備えた交換式もり状針 3 により、髪の毛の房内の髪の毛を絡み合わせる。髪の毛は、房自体の中心に向かって高速で絡み合わされる。

20

【 図 1 】

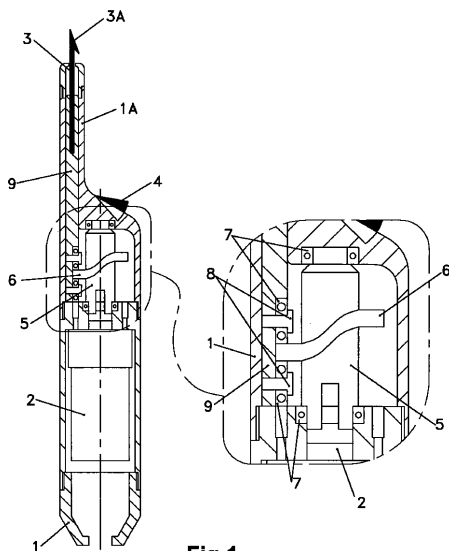


Fig.1

【 国際調査報告 】

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.
PCT/ES 2007/000473

A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER					
A45D 24/00 (2006.01) According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC					
B. FIELDS SEARCHED					
Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols) A45D					
Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched					
Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used) CIBEPAT, EPODOC, WPI dreadlock+, lock+, motor, hook					
C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT					
Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.			
A	DE 3844042 A1 (REINERS JOSEF ; REINERS BERND) 28.06.1990, figures 1 a 3 and abstract.	1-3			
A	US 5967150 A (WRIGHT et al.) 19.10.1999, figures 1 a 3 and abstract.	1-3			
A	BE 1001342 A3 (SAUVAGE SERGE) 03.10.1989, figures 1 a 3 and abstract.	1-3			
A	US 5603339 A (BRAZEAL et al.) 18.02.1997, figure 1 and column 4 lines 59 a 65.	1-3			
A	ES 1056895 U (MIJER SA) 16.05.2004, figure 1 and column 1 lines 1 a 11.	1-3			
A	WO 0122845 A1 (OGUNRO E OLAYINKA) 05.04.2001, figures 1, 4 and abstract.	1-3			
A	US 2004216758 A1 (RASCOE et al.) 04.11.2004, figure 22 and paragraph 81.	1-3			
<input type="checkbox"/> Further documents are listed in the continuation of Box C. <input checked="" type="checkbox"/> See patent family annex.					
* Special categories of cited documents: <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 33%;"> "A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance. "E" earlier document but published on or after the international filing date "L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified) "O" document referring to an oral disclosure use, exhibition, or other means "P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed </td> <td style="width: 33%;"> "T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention "X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone "Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other documents, such combination being obvious to a person skilled in the art "&" document member of the same patent family </td> <td style="width: 33%;"></td> </tr> </table>			"A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance. "E" earlier document but published on or after the international filing date "L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified) "O" document referring to an oral disclosure use, exhibition, or other means "P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed	"T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention "X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone "Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other documents, such combination being obvious to a person skilled in the art "&" document member of the same patent family	
"A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance. "E" earlier document but published on or after the international filing date "L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified) "O" document referring to an oral disclosure use, exhibition, or other means "P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed	"T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention "X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone "Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other documents, such combination being obvious to a person skilled in the art "&" document member of the same patent family				
Date of the actual completion of the international search 14 November 2007 (14.11.2007)		Date of mailing of the international search report (02/01/2008)			
Name and mailing address of the ISA/ O.E.P.M. Paseo de la Castellana, 75 28071 Madrid, España. Facsimile No. 34 91 3495304		Authorized officer A. Martín Moronta Telephone No. +34 91 349 53 77			

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

Information on patent family members

International application No.

PCT/ES 2007/000473

Patent document cited in the search report	Publication date	Patent family member(s)	Publication date
DE 3844042 A C	28.06.1990	NONE	-----
US 5967150 A	19.10.1999	NONE	-----
BE 1001342 A	03.10.1989	NONE	-----
US 5603339 A	18.02.1997	NONE	-----
ES 1056895 U	16.05.2004	ES 1056895 Y	01.09.2004 01.09.2004 01.09.2004
WO 0122845 A	05.04.2001	US 6164289 A	26.12.2000
US 2004216758 A	04.11.2004	US 7124918 B US 2006131351 A	24.10.2006 22.06.2006

INFORME DE BÚSQUEDA INTERNACIONAL

Solicitud internacional nº
PCT/ES 2007/000473

A. CLASIFICACIÓN DEL OBJETO DE LA SOLICITUD		
A45D 24/00 (2006.01)		
De acuerdo con la Clasificación Internacional de Patentes (CIP) o según la clasificación nacional y CIP.		
B. SECTORES COMPRENDIDOS POR LA BÚSQUEDA		
Documentación mínima buscada (sistema de clasificación seguido de los símbolos de clasificación)		
A45D		
Otra documentación consultada, además de la documentación mínima, en la medida en que tales documentos formen parte de los sectores comprendidos por la búsqueda		
Bases de datos electrónicas consultadas durante la búsqueda internacional (nombre de la base de datos y, si es posible, términos de búsqueda utilizados)		
CIBEPAT, EPODOC, WPI dreadlock+, lock+, motor, hook		
C. DOCUMENTOS CONSIDERADOS RELEVANTES		
Categoría*	Documentos citados, con indicación, si procede, de las partes relevantes	Relevante para las reivindicaciones nº
A	DE 3844042 A1 (REINERS JOSEF ; REINERS BERND) 28.06.1990, Figuras 1 a 3 y resumen.	1-3
A	US 5967150 A (WRIGHT et al.) 19.10.1999, Figuras 1 a 3 y resumen.	1-3
A	BE 1001342 A3 (SAUVAGE SERGE) 03.10.1989, Figuras 1 a 3 y resumen.	1-3
A	US 5603339 A (BRAZEAL et al.) 18.02.1997, Figura 1 y columna 4 líneas 59 a 65.	1-3
A	ES 1056895 U (MIJER SA) 16.05.2004, Figura 1 y columna 1 líneas 1 a 11.	1-3
A	WO 0122845 A1 (OGUNRO E OLAYINKA) 05.04.2001, Figuras 1, 4 y resumen.	1-3
A	US 2004216758 A1 (RASCOE et al.) 04.11.2004, Figura 22 y párrafo 81.	1-3
<input type="checkbox"/> En la continuación del Recuadro C se relacionan otros documentos <input checked="" type="checkbox"/> Los documentos de familias de patentes se indican en el Anexo		
* Categorías especiales de documentos citados:	"T"	documento ulterior publicado con posterioridad a la fecha de presentación internacional o de prioridad que no pertenece al estado de la técnica pertinente pero que se cita por permitir la comprensión del principio o teoría que constituye la base de la invención.
"A" documento que define el estado general de la técnica no considerado como particularmente relevante.	"X"	documento particularmente relevante; la invención reivindicada no puede considerarse nueva o que implique una actividad inventiva por referencia al documento aisladamente considerado.
"E" solicitud de patente o patente anterior pero publicada en la fecha de presentación internacional o en fecha posterior.	"Y"	documento particularmente relevante; la invención reivindicada no puede considerarse que implique una actividad inventiva cuando el documento se asocia a otro u otros documentos de la misma naturaleza, cuya combinación resulta evidente para un experto en la materia.
"L" documento que puede plantear dudas sobre una reivindicación de prioridad o que se cita para determinar la fecha de publicación de otra cita o por una razón especial (como la indicada).	"&"	documento que forma parte de la misma familia de patentes.
"O" documento que se refiere a una divulgación oral, a una utilización, a una exposición o a cualquier otro medio.		
"P" documento publicado antes de la fecha de presentación internacional pero con posterioridad a la fecha de prioridad reivindicada.		
Fecha en que se ha concluido efectivamente la búsqueda internacional.	Fecha de expedición del informe de búsqueda internacional	
14 Noviembre 2007 (14.11.2007)	02 de enero de 2008 (02/01/2008)	
Nombre y dirección postal de la Administración encargada de la búsqueda internacional	Funcionario autorizado	
O.E.P.M.	A. Martín Moronta	
Paseo de la Castellana, 75 28071 Madrid, España.	Nº de teléfono +34 91 349 53 77	
Nº de fax 34 91 3495304		

INFORME DE BÚSQUEDA INTERNACIONAL

Información relativa a miembros de familias de patentes

Solicitud internacional nº

PCT/ES 2007/000473

Documento de patente citado en el informe de búsqueda	Fecha de Publicación	Miembro(s) de la familia de patentes	Fecha de Publicación
DE 3844042 A C	28.06.1990	NINGUNO	-----
US 5967150 A	19.10.1999	NINGUNO	-----
BE 1001342 A	03.10.1989	NINGUNO	-----
US 5603339 A	18.02.1997	NINGUNO	-----
ES 1056895 U	16.05.2004	ES 1056895 Y	01.09.2004 01.09.2004 01.09.2004
WO 0122845 A	05.04.2001	US 6164289 A	26.12.2000
US 2004216758 A	04.11.2004	US 7124918 B US 2006131351 A	24.10.2006 22.06.2006

フロントページの続き

(81)指定国 AP(BW, GH, GM, KE, LS, MW, MZ, NA, SD, SL, SZ, TZ, UG, ZM, ZW), EA(AM, AZ, BY, KG, KZ, MD, RU, TJ, TM), EP(AT, BE, BG, CH, CY, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, FR, GB, GR, HU, IE, IS, IT, LT, LU, LV, MC, MT, NL, PL, PT, RO, SE, SI, SK, TR), OA(BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GQ, GW, ML, MR, NE, SN, TD, TG), AE, AG, AL, AM, AT, AU, AZ, BA, BB, BG, BH, BR, BW, BY, BZ, CA, CH, CN, CO, CR, CU, CZ, DE, DK, DM, DO, DZ, EC, EE, EG, ES, FI, GB, GD, GE, GH, GM, GT, HN, HR, HU, ID, IL, IN, IS, JP, KE, KG, KM, KN, KP, KR, KZ, LA, LC, LK, LR, LS, LT, LU, LY, MA, MD, ME, MG, MK, MN, MW, MX, MY, MZ, NA, NG, NI, NO, NZ, OM, PG, PH, PL, PT, RO, RS, RU, SC, SD, SE, SG, SK, SL, SM, SV, SY, TJ, TM, TN, TR, TT, TZ, UA, UG, US, UZ, VC, VN, ZA, ZM, ZW

【要約の続き】

(2)のシャフト(5)に対して半径方向にあり、長さ方向ガイド手段を備える往復移動体(9)を横断し、往復移動体には、交換式もり状針(3)が、取り付けられることを特徴とする装置。